



関西骨髓バンク推進協会ニュース — vol.70 —

Combined 献血と骨髓バンクの和を広げる会日より

**【発行】NPO法人
関西骨髓バンク推進協会**

大阪市城東区森之宮 2-4-43
大阪府赤十字血液センター新館6階

昨年の春、緊急事態宣言で社会全体に不安が広がりました。1年を経た今、まだハッキリとした先が見えていない状況が続いています。血液疾患の患者さんたちは、より一層心配なことに直面されていることでしょうか。私たちができることは、ただ粛々と、ひとりでも多くのドナー登録者数を増やすことだと信じ、活動を進めていこうと思っています。

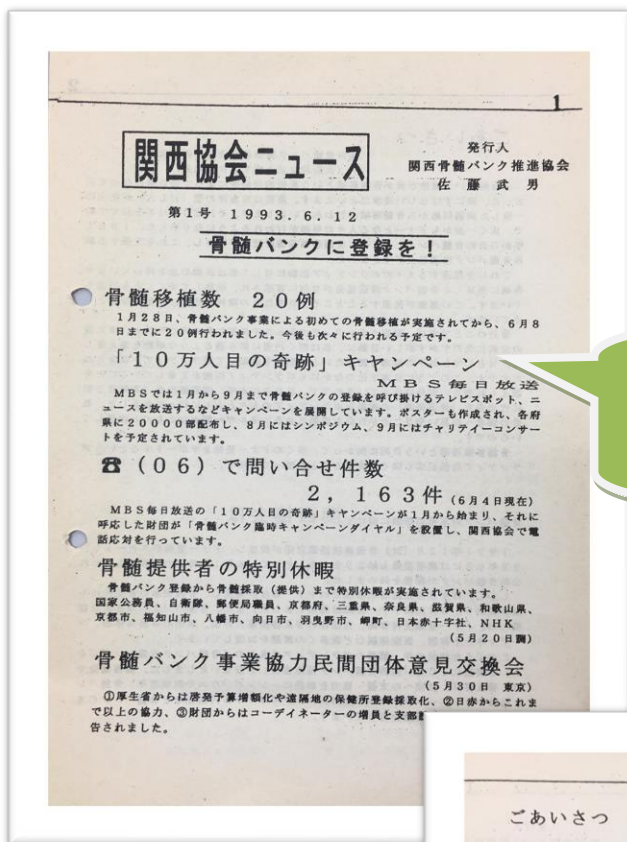


今号で70号を発行することができました！！

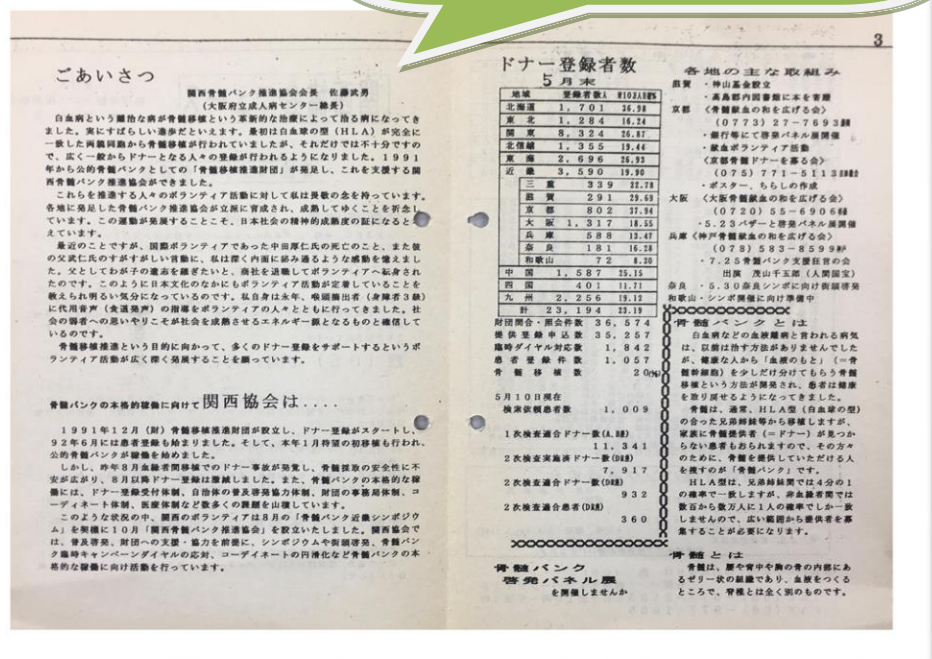
当会事務局に残る古いふるいファイルから、1993年6月に発行された**会報第1号**をひっぱり出しました。すっかり黄ばんだ藁半紙？に歴史を感じるとともに、当時の骨髓バンクの状況や、関わっておられた方々の熱意が伝わってきます。

MBS毎日放送で骨髓バンクのキャンペーンを行ってました
中堀由希子さんが大きな瞳から涙をこぼすCMが大きな反響をよびました

初代会長は
大阪府立成人病センター(当時の
総長 佐藤武男先生
事務局を成人病センター5階に置くことを
認めてくださいました

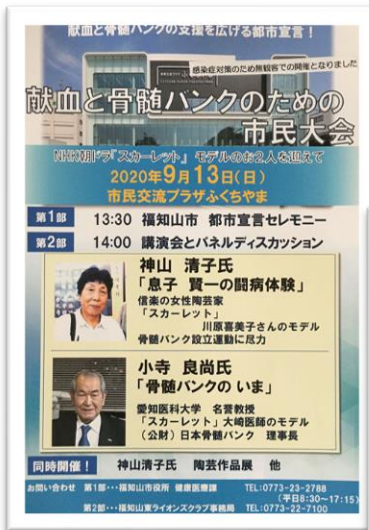


設立されたばかりの骨髓移植推進財団(当時)への支援や協力、まだ社会に周知されていなかった「骨髓移植・バンク」の普及啓発など、大変なご苦労があったことがわかります。当時のドナー登録者数は全国で2万人余り。以来、ドナーを増やすための活動が積み重ねられ、今に至るのですね。





NPO 法人献血と骨髄バンクの和を広げる会は、2011年7月に法人格を取得し、今年で設立10周年を迎えます。事務局所在地である京都府福知山市では、30数年前から今日まで、多くの方々に支えていただきました。昨年の活動についてご報告いたします。



福知山市主催の都市宣言セレモニーと、福知山東ライオンズ主催の講演会・パネルディスカッションが、9月13日に同時開催されました。感染の心配からビデオ上映に変更された滋賀県の神山清子さんのお話と、(公財)日本骨髄バンク 小寺良尚理事長の講演。



パネルディスカッションでは骨髄移植を経験された市内在住の佐藤遼さんと、骨髄バンク設立運動の際、共に尽力くださった福知山東ライオンズクラブから、道下雅昭さんにご登壇いただきました。無観客での開催でしたが、YouTubeで生配信されました。



福知山市は、**献血と骨髄バンクに特化した都市宣言**を行いました。京都府は府下全域で骨髄提供ドナーへの助成金制度を設けていますが、福知山市は市独自で制度を拡充する他、関係団体や市民とともに市を挙げて支援の機運を高めていきたいとしています。

12月、福知山市立六人部中学校の「つながりボランティア活動」の一環で、理事長・藤岡八重子が講演しました。30数年前、日本に公的バンクの設立を！と立ちあがった福知山市の中学生についての話は、いま同じくボランティア活動を行っている六人部中学校の皆さんの心に届いたと思います。

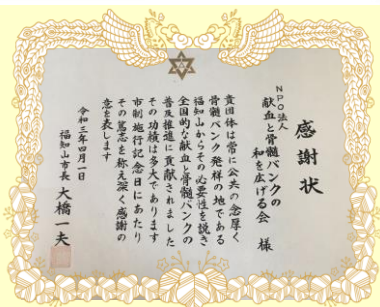


生徒の皆さんがアルミ缶回収で集めたお金をご寄付くださいました。ありがとうございました。



NEWS

福知山市長から感謝状をいただきました



2021年4月1日、福知山市役所で感謝状を拝受いたしました。これからも移植を待つ患者さんやそのご家族を思い、活動を広げていきたいと思っています。



★寄稿★

僕の入院生活

R. Rくん（発病時6歳）
病名・再生不良貧血（最重症型）



僕は、小学一年生の時に骨髄移植をしました。昨日まで元気に幼稚園に通っていたのに、急に入院になりました。幼稚園も辞めなければならなくなり、不安でいっぱいでした。病院には、たくさん子どもたちが入院していました。赤ちゃんもいました。時々、他の病室からすごい泣き声が聞こえて、理由はわからないけれどとても悲しくなりました。

骨髄移植のことは、血を作っている僕の壊れた“工場”を建て直し、輸血をしなくても元気に生活できるようにするためのと説明されました。毎日のように採血や点滴、輸血があったので、僕は注射の針が怖くなくなりました。



数百から数万分の一の確率で、僕の骨髄ドナーさんが見つかりました。骨髄移植は、輸血のように点滴によって行われます。骨髄移植の前にお腹の調子が悪くなったため、絶飲食の日が続きました。テレビをつけると、食べ物の番組ばかりなのですぐに消しました。おもちゃのケーキをかじりながら寝た日もありました。

移植の日は満月で、僕の病室からきれいなお月様が見えました。ドナーさんの名前は知らせてもらえないので、「満月のおじちゃん」と呼ぶことにしました。移植には十時間かかりました。移植中は眠っていて何も感じなかったけれど、終わった後はしんどすぎて、その時の記憶はほとんどありません。



約一年の入院生活を終え、退院してからもいろいろな制限があって、みんなと同じように出来ないことがあったけれど、僕は学校に行けることが嬉しくて、学校の友達が大好きで、元氣になれたことが本当に嬉しかったです。

今年の春、僕は六年生になります。いろんなことがみんなと同じようにできるようになりました。去年は、林間学校にも行けたし、山登りもできました。僕に命を繋いでくれた「満月のおじちゃん」、病院の先生と看護師さんたち、そして、僕と一緒に病気と闘ってくれた家族や友達のおかげで、僕の今があります。

きっと大丈夫。きょううまくいく。息子の前ではいつも笑顔でいよう。何度も何度も心に刻んだ言葉です。息子の治療が骨髄移植しかないとき分かったときには頭が真っ白になり、家族はドナーさんが見つかることだけを祈る日々でした。どんな治療も受け入れ、いつも前を向いて自分の未来に夢描く息子の姿に親である私が励まされた闘病生活でした。



お母さまより



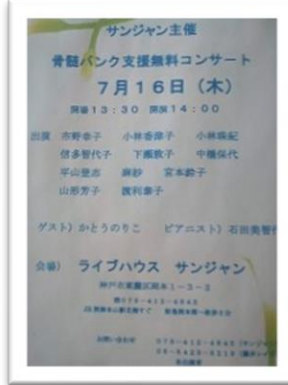


活動報告 2020年7月~12月 (併行型登録会は除く)

<和の会>献血と骨髄バンクの和を広げる会

7月

- ・藤井レイ子さん チャリティコンサート 講話 寄付拝受
- ・新規説明員研修

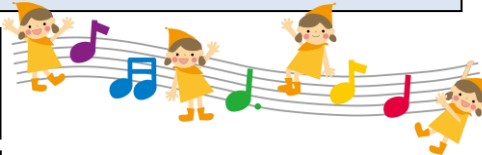


8月

- ・フィレールの会 チャリティコンサート 講話 寄付拝受

9月

- ・献血と骨髄バンクのための市民大会 <和の会>



10月

- ・フィレールの会 チャリティコンサート 講話 寄付拝受



11月

- ・ゆめの木勉強会
- ・羽衣国際大学 骨髄バンク勉強会 語りべ講演
- ・新規説明員研修

12月

- ・フィレールの会 チャリティコンサート 講話 寄付拝受
- ・都島ライオンズクラブ骨髄バンク勉強例会
- ・愛のかけはし チャリティコンサート 講話 展示即売 寄付拝受
- ・六人部中学校つなごロックボランティア講演会 <和の会>





Topic

2021年度 大阪市「骨髄等提供者に対する助成制度」

～ 念願の導入実現！ 尽力いただいた皆様のお話 ～

当協会事務局の所在地の大阪市も2021年4月1日より「骨髄等提供に対する助成金制度」が導入されました。大阪府では
○池田市 ○泉佐野市 ○堺市 ○富田林市 ○東大阪市 ○枚方市（2021年2月現在・五十音順）
に続いての導入となります。私たちの仲間と支えてくださる方の思いが実を結びました。

患者家族・骨髄バンク説明員
落語家の栄田慶子さんと
大阪さくらライオンズクラブ
布川幸子さんの出会い



栄田慶子さん

布川幸子さん

大日のレストランで初めて会い、栄田さんの娘さんのご病気のこと、骨髄バンク推進活動の話聞き、胸を打たれて所属されている大阪さくらライオンズクラブで応援しようと



布川さんが会長に就任され
骨髄バンクをテーマに掲げ
例会で栄田さんが落語を披露



栄田さんの話を聞くごとに「大阪市でなぜドナー助成金制度がないのだろう？」と声を上げ、奔走される

議員さんに掛け合うもはじめは否決
さくらライオンズクラブの皆様と共に
「あきらめず来期に賭けよう」

ついに皆様のご尽力で助成金制度
導入決定！

「登録者が提供しやすい環境になっていくと思います」「活動に弾みがつきます」とうれしいお言葉



布川さんや、いつも私たちに支援して下さるライオンズクラブの皆様のおかげで活動が拡がり、患者さんの希望が増えていきます。心より感謝申し上げます。



ドナー登録会実績 関西骨髄バンク推進協会協会開催分 (2020年7月~12月)

大阪府(移動採血バス)			
	登録会(回)	登録者数(人)	前年実績(人)
7月	20	177	129
8月	24	233	87
9月	18	183	82
10月	25	266	235
11月	24	212	202
12月	33	355	249
計	144	1426	984

大阪府(献血ルーム)			
	登録会(回)	登録者数(人)	前年実績(人)
7月	11	79	41
8月	10	62	41
9月	10	65	41
10月	7	40	25
11月	6	58	53
12月	7	65	46
計	51	369	247

各献血ルームごとの登録実績では、6月から実施のあべの献血ルームKiZooNaで毎回平均10名以上の登録者があり、特に若年者ドナーの登録が増加しました。2021年度からは枚方市駅ルームでも併行型登録会を開始できることになりました。

2020年前半は、4月の緊急事態宣言後5月末までは併行型登録会の開催ができませんでした。

6月に再開してからは、ライオンズクラブ335B地区で献血奉仕活動とバンクドナー登録活動を併せて行うことを推奨していただいたことで新規会場での登録会が増えました。7月以降は前年実績を大きく上回る登録者数となっています。

大阪府赤十字血液センターのご担当者から、移動採血バスでの献血実施が少ないので、献血ルームでの活動を増やすよう提案いただきました。ルームでの登録者数も前年を上回っています。

献血ルーム別実績			
献血ルーム名	回数	登録者数(人)	前年実績(人)
阪急茨木市駅	8	28	31
阪急グランドビル25	6	56	90
西梅田	6	30	27
御堂筋CROSS CAFÉ	8	49	31
まいどなんば	10	94	41
堺東	7	37	27
あべのKiZooNa	6	75	-
計	51	369	247

ドナー登録会実績 献血と骨髄バンクの和を広げる会開催分 (2020年7月~12月)

京都府北部(舞鶴を除く)			
	登録会(回)	登録者数(人)	前年実績(人)
7月	10	30	20
8月	5	12	17
9月	4	7	27
10月	6	22	15
11月	6	23	38
12月	3	7	44
計	34	101	161

兵庫県北部・中部			
	登録会(回)	登録者数(人)	前年実績(人)
7月	4	30	33
8月	3	13	36
9月	3	33	14
10月	1	4	20
11月	3	5	29
12月	3	11	18
計	17	96	150

京都府赤十字血液センター福知山出張所管内では説明員不足が深刻な状況ですが、10月には今期初めての大学での登録会で、京都建築大学校の皆さんに多数ご登録いただきました。

福知山市のご協力を得ながら新規の説明員を募集することを検討しています。

昨春に兵庫県薬務課から、県北部での新規説明員募集について協議の提案があったのですが、コロナウィルス感染症対策のため進展していません。9月は前年に続き、県立日高高等学校での登録会、10月は豊岡市保健センターでの初めての登録会で、多くのドナー登録がありました。県中部での活動が増えるよう血液センター担当者と検討したいと考えています。



ご寄付に感謝申し上げます 2020年7月1日~12月31日(敬称略・順不同)

NPO法人 関西骨髄バンク推進協会 分

個人寄付

小林 悦子	10,000 円	伊藤 義弘	30,000 円	大上 武徳	2,000 円
三宅 正起	5,000 円	岩間 溶子	7,000 円	田中 義則	4,184 円
名川 一史	2,000 円	中田 国光	5,000 円	芋坂 和範	10,000 円
松尾 光起	20,000 円				

手作り作品の提供

マグノリア 布遊びの会

団体寄付

サンジャン 7/16ライブ	22,530 円	フィレールの会 8/22コンサート	41,000 円
フジモト眼科天王寺ミオ分院	30,000 円	大和郡山ロータリークラブ	10,000 円
泉南中央ライオンズクラブ	10,000 円	大阪ヴァイオレットライオンズクラブ	10,000 円
茨木市立東中学校 青健ネット	50,252 円	京都南ロータリークラブ	100,000 円
ギタスナフェス2020	7,532 円	イオン大日店イエローシート	34,500 円
寝屋川中央ライオンズクラブ	20,000 円	愛のかけはし 12/18コンサート	5,000 円

NPO法人 献血と骨髄バンクの和を広げる会 分

個人・団体寄付

衣川 さなえ	10,000 円	福知山東ライオンズクラブ	200,000 円
芦田 淑子	10,600 円	両丹日日新聞社 愛の基金	40,000 円
つながロックボランティア運営部 (京都府 福知山市立 六人部中学校)			25,740 円

手作り品・物品提供などによる寄付 啓発品製作協力

岡崎商店 藤岡八重子 横山 敦子 加藤 早苗

● 連載企画 専務理事 八重ちゃんのつづやきコーナー ●

1990年頃だろうか、歌舞伎町の居酒屋で橋本明子さんと食事をした。(橋本さんは酒豪のイメージを私は持っている) その時いろいろなものを注文したのだけれど、ヒラメのエンガワだけが記憶に残っている。私の一生に一度の歌舞伎町の経験だ。

大谷貴子さんとの記憶は、最初なのかは定かではないが、我が家でワイワイと騒いでいた光景が目には浮かぶ。彼女のドナーである、お母さまの巻枝さんも一緒だった。その頃大谷さんは、講演会の時はいつもお母さまと一緒にだったように思う。

去年の秋、随分しばらくぶりに橋本さんと会うこととなった。少し年は取っておられたがあの頃のままだった。白血病患者のために最新の情報を発信する活動を続けておられる。

大谷さんはFacebookで見つけた。電話の向こうの声は30年前のまま。彼女も患者のため妊孕性の助成金などの活動を続けておられる。この電話の時も巻枝さんが一緒に、お元気な声を聞くことができた。

私も自分の時間の大半を骨髄バンクのために使っている。橋本さんも大谷さんも、そして私も、30数年前のバンク設立に奔走した頃と、少しも「変わっていない」ような気がする。30年もの時間が経過した骨髄バンクに、最初に設立にかかわった人たちが、今なお「ボランティアのまま」活動していることを疑問に思っ、ふと考え込んでしまった。

お振込先 郵便振替口座 00970-3-64270 特定非営利活動法人 関西骨髄バンク推進協会
りそな銀行/京阪京橋支店 普通 6195718 NPO法人 関西骨髄バンク推進協会
理事長 河敬世
京都北都信用金庫/前田支店 普通 1079002 NPO法人 献血と骨髄バンクの和を広げる会

* 本会報は団体賛助会員 NPO法人献血と骨髄バンクの和を広げる会の会報として 報告を兼ねさせていただいております

NPO法人 関西骨髄バンク推進協会
〒536-0025
大阪市城東区森之宮2-4-43
大阪府赤十字血液センター 新館6階
MAIL kansaikyokai@sirius.ocn.ne.jp

NPO法人
献血と骨髄バンクの和を広げる会
〒620-0855
京都府福知山市土師新町3-121
MAIL wawohirogerukai@gmail.com